

～“安全に・安定して・毎日” 届けるために～



志木市の水のひみつ

私たちが毎日当たり前のように使っている水道水はどこから来て、どこに流れていくのでしょうか。今月は、意外と知られていない水の流れの仕組みや皆さんのもとに“安全に・安定して・毎日”届けるために必要となる費用など志木市の現状をお伝えします。 **問合せ** 上下水道総務課 ☎048 (473) 1299 (代)

志木市の水の流れって？

1

荒川

利根川から武蔵水路
を通して荒川へ合流
した水が、大久保浄
水場へ



さいたま市桜区

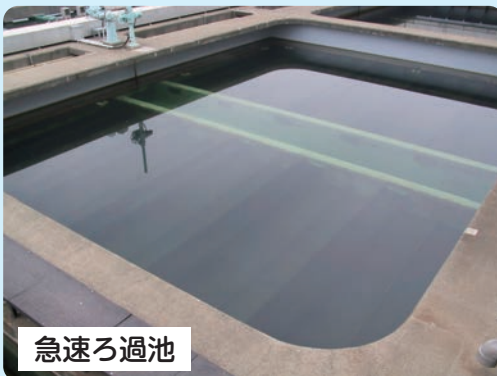
2

大久保浄水場

さいたま市・飯能市・川口市・
三芳町など16の市町へ水を供給



沈でん池



急速ろ過池

県が運営する大久保浄水場で、にがりや砂などの汚れが沈でん・ろ過され、きれいになった水（県水）を購入（県水購入費：約2億9千万円*）



中宗岡 1 丁目

3

宗岡浄水場

県水60%と市内で汲み上
げた地下水40%を混ぜ合
わせ、消毒・殺菌を行う
（浄水場の維持管理費：約
1億8千万円*）



7

新河岸川

きれいになった水は
新河岸川へ放流



和光市

6

新河岸川水循環センター



朝霞市・所沢市・川越市・
吉見町など13の市町から集
まった汚水を処理

汚水処理の負担金を県へ支払
う（汚水処理の負担金：約2億
8千万円*）

柏町3丁目

5

志木中継ポンプ場



トイレやお風呂で使用された汚水は傾斜をつけた汚
水管で自然に流れるため、地中深くまで下がった管
の汚水をポンプで引き上げ、県が運営する新河岸川
水循環センターに送る（汚水施設の維持管理費：約
1億4千万円*）

4

各家庭



市内及び富士見市水谷地区の一部（計約
38,000戸）へ配水（水道管の維持管理費：
約1億円*）



※費用は令和6年度にかかったもの（税抜き）

雨水はどうやって流れていくの？

雨が降ると、雨水は地中に吸収されるほか、雨水施設を通じて川へ放流されます。

新河岸川・柳瀬川



排水溝を通して
雨水施設へ

雨水施設



(雨水施設の維持管理費：約
1億8千万円※)



館第一排水ポンプ場
(館2丁目)



館第二排水ポンプ場
(柏町6丁目)

※費用は令和6年度にかかったもの（税抜き）



水道水のギモン

水道水の供給はいつはじまったの？

1959年（昭和34年）に本町・幸町・宗岡地域の一部で供給され、その後少しずつ範囲を拡大していき、1980年（昭和55年）に、現在の規模まで拡大しました。

浄水場ってどんなところ？

浄水場は、自然の水を水道の水にする大きな工場で「沈でん」・「ろ過」・「消毒」の3つの工程を通して、きれいな水をつくる役割を担っています。

1日にどのくらいの水を使っているの？

志木市では1日に約20,000㎥（1㎥＝お風呂約5杯分）の水が使われています。また、市内にあるタンクは約25,000㎥分溜めておくことができます（宗岡浄水場：約20,000㎥、大原浄水場：約5,000㎥）。

志木市の水道水の特徴は？

志木市の水道水には市内の地下水が4割含まれています。この地下水は硬度が低く、お米をふっくら炊き上げることができるほか、香りや風味を楽しむ日本茶や紅茶にも適しています。またカリウムを多く含んでいることから、汗をかいた後に飲むとより一層おいしく感じられます。

志木市の水道管の長さは？

約155kmあり、志木市役所から直線距離で長野県松本市や伊豆半島の石廊崎への距離とほぼ同じになります（各家庭へつながっている水道管を除く）。

志木市の水道料金の現状

国の機関や工場など、大口の需要が少ないことを考慮した料金設定となっています。

<水道料金の比較>

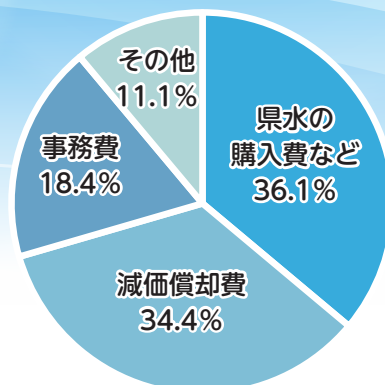
	金額(税込み)
志木市	2,288円
朝霞市	2,255円
和光市	2,051円
新座市	2,145円
富士見市	2,255円
ふじみ野市	2,361円
埼玉県平均	2,683円
全国平均	3,401円

※13mm口径で1か月に20㎡使用した場合
※令和7年4月1日現在

<1㎡あたりの収支(令和6年度)>

売上げ	143.29 円
生産・販売費	162.76 円
収支差引	-19.47 円

現状でも1㎡あたり約20円の赤字が発生しています。



トイレや洗濯機など節水型機器の普及により、市内で使われた水が最も多かった平成4年(1992年)度から、人口は1万人以上増加しているのに対して、年間で約40日分の水量が減少しています。水量の減少は料金収入の減少に直結します。

志木市の下水道使用料の現状

大規模な中継ポンプ場の設置や周辺地域から集まった地下水が污水管の中に入り込む「不明水」などが下水道使用料にも影響しています。

不明水は「志木市の污水」として処理され、県へ支払う処理料が割高になってしまうため、古くなった管を更新するなどして対応を続けています。

<下水道使用料の比較>

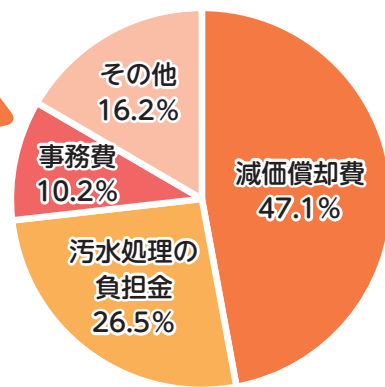
	金額(税込み)
志木市	2,255円
朝霞市	1,155円
和光市	1,262円
新座市	1,639円
富士見市	1,650円
ふじみ野市	1,367円
埼玉県平均	2,147円
全国平均	2,924円

※1か月に20㎡排水した場合
※令和7年3月31日現在

<1㎡あたりの収支(令和6年度)>

下水道使用料	112.68 円
污水处理費用	110.81 円
収支差引	1.87 円

水循環センターの污水处理の負担金の改定により今後赤字になることが見込まれます。



志木市の上下水道事業のこれから

志木市上下水道事業は、安全安心な水道水の安定供給を最優先に、耐震化・老朽化・水害対策などを着実に進めています。現在は借入を中心とした財源確保を進めつつ、国の補助金活用や業務統合、資材の見直しなどの改善に努めています。

しかしながら、物価高騰による費用の増加や水量の変動による料金収入の減少といった財政的な課題に直面しており、今後の経営が難しくなることが見込まれます。こうした課題を踏まえ、3月に「志木市上下水道事業経営戦略」を策定し、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



◀市 HP
(経営戦略)